

平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市睦地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

★今年度は、地域の現状から①「新たな担い手の発掘や支援」②「各関係機関と連携を強め、地域の課題に粘り強く取り組む」の 2 点を主項目と捉え、事業展開を行いました。

計画①：地域の担い手や支え手も高齢化してきており、新たな担い手の発掘を支援します。

報告①：今年度はキャラバン・メイトや障害の理解講座のサポートをし、地域住民の方々に対して認知症や障害についての啓発を進める形で働きかけを行いました。来年度も引き続き、担い手を発掘する為の取り組みを行っていきたいと考えています。

計画②：近年地域課題が多様化・高度化してきており、各関係機関との連携を一層深め、粘り強く対応を続けます。

報告②：地域の会合等の出席はもとより、地域ケア会議の開催や地域の方々を招いての意見交換会を実施し、地域課題に対しての共有や対応についての協議を重ねました。すぐに結果が出ることは困難ですが、粘り強く継続して参ります。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

計画①：定期的に保守点検を行います。

報告①：構築物、建物設備、電気、消防設備等、法令に基づき定期的を実施しました。

計画②：定期的に清掃を行います。

報告②：外部業者による定期清掃、職員による日常清掃、地域の有償ボランティアによる外掃除を実施し、維持管理に努めました。

計画③：施設内外の日常点検を行います。

報告③：安全チェックリストに基づき、夜間帯に職員 2 名体制で施設内外の巡回点検を行いました。

計画④：屋上植栽の手入れを定期的に行います。

報告④：専門業者による剪定作業等を 2 ヶ月に 1 回実施しました。

★当施設は母子生活支援施設、老人デイサービス、児童発達支援事業・放課後等デイサービスとの複合施設です。

共有部分の管理は相互に協力し、年 1 回専門の業者の建物検査を受けています。

イ 効率的な運営への取組について

計画①：予算管理は適切に行います。

報告①：法人本部及び経理部門と摺り合せを重ね、指定管理料に応じた適切な運営を行うため、多角的に状況を見ながら予算管理に努めました。

計画②：物品購入については価格・質を公平に判断します。

報告②：見積り合わせを行い、業者を公平に選定して購入しました。

計画③：省エネルギーに取り組みます。

報告③：節電→館内の使用状況に応じた電灯の使用を心掛け、こまめに消灯をする等節電に努めました。

節水→雨水タンクの活用等、光熱水費の節約に努めました。

計画④：物品のリサイクルに取り組みます。

報告④：封筒の再利用、コピー用紙の裏紙使用などに努めました。

★法人の理念、運営方針、ケアプラザの基本方針に基づき、職員全員が効率的な運営に取り組みました。

ウ 苦情受付体制について

計画①：法人の苦情解決規定に基づき適切に対応いたします。

報告①：法人へのご意見・ご要望・苦情は、受付担当者及び解決責任者からなる苦情解決委員会において対応しました。法人全体での苦情に対しては経営改善会議で共有し、全職員に周知しました。

ケアプラザに対する苦情は、館内にて閲覧出来るように掲示しております。

計画②：苦情申し立て方法を館内に掲示します。

報告②：苦情受付担当者一覧や連絡先を、継続して館内に掲示しました。

計画③：利用者からの意見を受け止めやすくする為、館内にご意見箱を設置し、無記名アンケートを実施します。

報告③：今年度はご意見箱への投函はありませんでした。

利用者アンケートの結果は包括支援センター・地域活動交流部門共に館内に掲示しております。

- ・ 苦情解決の仕組み：法人の苦情解決規程に基づきご意見・ご要望・苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員会による委員会で適切な対応をします。
- ・ ご意見箱の設置：各部屋にアンケート用紙を設置し、利用者からの要望を受付しやすいように配慮しております。
- ・ 館内に苦情申立方法（フォロー図）を掲示しております。
- ・ 頂いた苦情やご意見は情報ラウンジに閲覧出来るようファイルを作り、公表しております。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

計画①：防犯への取り組み：職員による巡回、警備会社との委託契約を継続します。

報告①：警備会社との委託契約継続：機械警備を継続実施。その他に職員が毎日2名体制で館内外を巡回、安全チェック表に記録しました。

24時間稼働の防犯カメラ・出入口のセンサーチャイムによる不審者の来館防止を行いました。

計画②：防災への取り組み：避難訓練の実施、職員研修を行います。

報告②：ケアプラザ全職員で自衛消防組織を作り、年2回避難訓練を実施しました。その際は、職員だけでなく施設利用をしている来館者にも参加の同意を頂き、合同で避難訓練を行いました。

H28年9月には、南消防署蒔田消防出張所から指導を受け、複合施設全館対象の避難訓練を行いました。

計画③：職員研修を行い意識向上に努めます。

報告③：AEDの取り扱い研修 H28年9月
救急対応研修 H28年9月
緊急時受信機取り扱い研修 H28年6、9、12月

計画④：特別避難場所指定施設として物品管理など行います。

報告④：特別避難場所開設マニュアルの見直しを適宜行いました。次年度も引き続き備蓄品管理及びマニュアルの見直し等各部署から委員を募り、委員会形式で継続します。

物品管理は適切に行い、備蓄品が見やすい様に整理整頓し、消費期限が過ぎたものを備蓄することの無い様に留意致しました。

★事故発生時の対応：事故対応マニュアルに沿って法人本部、行政、各関係機関に報告、迅速に対応します。

オ 事故防止への取組について

計画①：事故防止への取り組み：事故発生時には、安全委員会を開催します。

報告①：今年度ケアプラザ内では、安全委員会に諮る事故の発生はありませんでした。

- ・ デイサービスでの事故など法人の他部署の事故については、安全委員会で共有し再発防止委員会の報告を職員に周知しました。ヒヤリ・ハット報告に関しても同様の対応をしています。
- ・ 法人安全委員会開催：毎月法人の経営改善会議を行う際に開催しています。
- ・ 事故報告、ヒヤリ・ハット報告等を行い、原因究明及び再発防止策を共有し、防止に努めます。
- ・ 各事業部の報告などを朝礼で職員に周知し、意識の向上と防止に努めます。
- ・ 毎月の所長会での市内及び区内の事故報告を職員全員に伝達し、事故防止に努めます。
- ・ ヒヤリ・ハットなどの事例を基に、研修を実施し予防に努めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

計画①：情報漏洩防止への取組みを徹底します。

報告①：年度初頭に、全職員が個人情報漏えい防止チェックシートに取り組み、意識付け及び注意喚起を行いました。

計画②：個人情報保護規程を掲示します。

報告②：館内に法人の個人情報保護規程に基づき、ケアプラザ規定を掲示しました。

計画③：随時、職員研修を行い意識向上に努めます

報告③：全職員に対して、個人情報保護やプライバシー保護に関する研修を行いました。

計画④：FAX 送信はできるだけ避け、送信する場合は事業所の短縮登録を使用し、2名体制でおこなう。

報告④：極力、郵送にて対応致しました。

FAX を使用する場合は必ず2名体制で宛て先等確認し、送信記録簿にチェックをしました。

計画⑤：郵送物の確認は2名体制で行います。

報告⑤：郵送物は、必ず郵送前に他の職員に中身の確認を依頼しています。

計画⑥：個人のデータに関わる情報の入力、他の職員のチェックを受けます。

報告⑥：データの入力後、誤りがないか第三者のチェックを必ず実行しました。

★書類の施錠管理、個人情報の持ち出し原則禁止、机上整理など徹底しました。

★ 事務所内に横浜市個人情報保護に関する条例等を置いて、いつでも職員が再確認出来るようにしてあります。

キ 情報公開への取組について

計画①：開示請求への対応：積極的に開示を行います

報告①：今年度は、居宅介護支援部門の支援記録について開示請求があった為、速やかに対応致しました。

計画②：ホームページ・広報紙による情報提供に努めます。

報告②：ホームページに貸館空き情報を掲載し、定期的に更新を行っています。
広報紙は隔月定期的に発行：関係団体、関係機関、事業所、利用者、地域のスーパー、薬局、医療機関などに配布しました。（今年度：12,130部発行）

計画③：事業報告書・計画書などは閲覧可能ファイルで公開します。

報告③：情報ラウンジにファイルを置き、自由に閲覧できるようにしました。
第三者評価・苦情内容なども同様にしました。

★横浜市イベントカレンダー・横浜市ホームページに施設情報を公開しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

計画①：ヨコハマ3R夢プランに基づきゴミを減らす。また資源の再利用・ゴミ分別に取り組みます。

報告①：リデュース：ゴミの排出を抑制する→ひとつの物を長く使う、無駄な物を購入しない等を心掛けています。

リユース：何回も繰り返し使う→使用済み封筒やコピー用紙の再利用など継続しました。

リサイクル：分別して再資源とする→分別の徹底：弁当空き容器の持ち帰りを励行しました。

計画②：地球温暖化への取り組みを行います。

報告②：夏、冬のエアコン温度設定の適正化に努めました。

使用していない廊下などの消灯：トイレ・相談室の蛍光灯を外すなど節電に努めました。

冷暖房のこまめな室温調節を行いました。

★エコキャップ回収の継続

- ・ 28年7月21日(38名参加)ボランティアの協力で選別作業を行い、99,760個(ポリオワクチン 116人分)になりました。

近隣の障害者施設の通所者の方が職員とともに昨年同様参加して下さいました。地域の方にこの事業が定着しつつある様で、定期的にキャップを届けてくださる方が増えました。

「ボランティア会」として定着し作業後は交流会を行いました。地域の障害者施設からも参加があり、途上国へのポリオワクチン代の協力やエコ啓発だけでなく、地域の方達の交流の機会となりました。

ケ 人権啓発への取組について

計画：地域ケアプラザの職員として、人権問題について正しい知識と認識を深める様に努めます。

報告：横浜市人権施策基本指針を基に内部研修の実施を行い、また人権問題に関する資料等を館内に掲示する等の取り組みを致しました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤）
介護予防プランナー	1名（常勤）

《目標》

今年度の包括支援センターの全体目標

- ・社会資源の情報を更新・整理し最新の情報を提供できる。
報告→情報ごとにファイルし、インフォーマルサービスや自費サービスについても必要時に情報提供できるようにしました。
- ・ケース会議を行い、情報の共有化を図り支援方法をチームで検討する。
報告→定例の会議だけでなく、毎朝ミーティングを行い、出勤者は情報共有を行いました
- ・地域の会合や催し事に積極的に出向き「顔の見える関係」「相談しやすい関係」をつくり、包括支援センターの役割を周知する。
- ・地域のニーズに合った、出張講座事業の実施継続。
報告→他部門と連携し、高齢者の食事会や交流会に出向き、介護予防・成年後見制度や介護保険制度について各専門職がミニ講座を行い、相談を受け付けました。
- ・第3期南区地域福祉保健計画：地区別計画に沿った自主事業を地域との連携を図りながら行う
報告→地域の取り組みの活性化に向け、他部門と連携を図りながら活動の支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 総合事業が開始され、各々の職種がもつ専門的知識の向上を目指し研修を受講、報告書で共有し包括支援センター業務の対応能力向上に努めました。
- 委託事業所のケアマネジャーとの連携を強化し、事業者の選択は一覧表やパンフレットを提示しながら公平中立に行いました。
- 地域活動交流部門・居宅介護支援センターと定期的に会議を開催し、情報共有を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
186	188	190	187	184	185
10月	11月	12月	1月	2月	3月
183	188	181	183	177	175

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	2名（常勤1名、常勤兼務1名）
ケアマネジャー	2名

《目標》

- 短期目標 ①積極的に研修を受講し、その後部署全体で振り返りや意見交換を行い、知識を深め適切な対応ができる。
 報告→月1回は外部研修に参加。報告までは行えたが、意見交換伝達研修には至らなかった。
- ②自身のケースやケアプランに対しての説明力を付ける為、勉強会を継続し、資質の向上を目指す。
 報告→個別ケースの共有に時間がかかり勉強会の時間を設ける事が、難しくなっている。多様なケースを共有することで資質の向上に繋がっている。
- 長期目標 ①地域包括支援センターとの連携を深める為、連携会議や事例検討を定期的に開催する。
 報告→地域包括支援センターが定期的に開催する協力医とのカンファレンスに参加。毎月1回、地域包括支援センターと居宅介護支援センターの全職員で会議を開催した。
- ②医療機関及び関係者との連携を図る。近隣の医療機関に出向き、協力医とのコミュニケーションを図る。
 報告→入院時、退院前から医療機関と連携しスムーズに在宅に戻り支援に繋げる体制作りが行なえる様になってきている。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません
- サービス提供地域を超える地域への訪問等を行う必要がある場合は、その交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域の社会資源の情報提供（睦地域ケアプラザの広報紙やチラシの案内）を行い社会参加を促します。
- ・介護保険外サービス（配食サービス・ちょこっとボランティア）などを居宅介護支援計画書に位置づけます。
- ・虐待ケース及び困難ケース等は地域包括支援センター、区役所など関係機関と連携し、利用者及び家族の支援を行ないます。
- ・民生・児童委員や地域の方々との連携に努め「顔の見える関係」を構築します。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	115	114	115	116	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
113	114	111	115	120	118

● 通所介護事業

● 単独型通所介護（7時間以上9時間未満）

- 介護に関する相談援助、看護師による健康状態の確認、送迎、食事などの提供（おやつを含む）、入浴、個別運動、集団レクリエーション、全体体操、創作活動、介護サービス（移動や入浴・着脱、排泄介助、食事介助や見守り、口腔ケア等）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	704円/回
（要介護2）	831円/回
（要介護3）	963円/回
（要介護4）	1095円/回
（要介護5）	1227円/回

● 食費負担 700円/回（おやつ代込）

● 加算	入浴加算	54円/回	
	サービス提供加算Ⅰ	13円/回	
	介護処遇改善加算Ⅰ	所定単位数の40/1000	加算/月

《事業実施日数》 週 6 日 日曜日及び12/29～1/3を除く

《提供時間》 9 : 30 ~ 16 : 35

《職員体制》

管理者	常勤	1名		
生活相談員	常勤	3名	非常勤	3名
介護職員	常勤	3名	非常勤	15名
看護職員			非常勤	3名
管理栄養士			非常勤	1名
調理職員			非常勤	5名
送迎職員			非常勤	5名

《重点目標》

- ・ 安定した経営を行う為、利用者人数を確保し、関係機関との連携を深める。
- ・ 職員の人材育成を行い、事業所のレベルアップを図る。
- ・ 地域に開かれたデイサービスを目指す。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
543	531	546	519	571	576
10月	11月	12月	1月	2月	3月
579	552	580	525	528	565

● 介護予防通所介護事業

- 単独型介護予防通所介護（7時間以上9時間未満）
 - 介護に関する相談援助、看護師による健康状態の確認、送迎、食事の提供（おやつを含む）入浴、個別運動、集団でのレクリエーション、全体体操、創作活動、介護サービス（移動介助、入浴・着脱、排泄介助、食事の見守り、口腔ケア等）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 1766円／（週1回）

（要支援2） 1766円／（週1回）

3621円／（週2回）

● 食費負担 700円（おやつ代込）

● 加算

サービス提供体制強化加算Ⅰ-1 52円／月

サービス提供体制強化加算Ⅰ-2 103円／月

介護処遇改善加算 所定単価数の40／1000 月

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：35

《職員体制》

管理者	常勤	1名		
生活相談員	常勤	3名	非常勤	3名
介護職員	常勤	3名	非常勤	15名
看護職員			非常勤	3名
管理栄養士			非常勤	1名
調理職員			非常勤	5名
送迎職員			非常勤	5名

《重点目標》

- ・ 安定した経営を行う為、利用者人数を確保し、関係機関との連携を深める。
- ・ 職員の人材育成を行い、事業所のレベルアップを図る。
- ・ 地域に開かれたデイサービスを目指す。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	13	13	12	12	12
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	12	10	11	11	11

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

計画① 高齢者、障害児・者、児童分野からの多種多様な相談に応じることが出来る様に職員間の連携、情報の共有化、研修受講、社会資源の把握等を今年度も継続して行います。

報告① 職員全体で、相談・支援に取り組む様意識をしています。地域の関係機関やイベント等の情報を共有する様に努めています。

計画② 広報紙やホームページ等を活用し、ケアプラザの相談機能についての説明や、幅広い分野に対応した活動を行っている事を周知していきます。

報告② 広報紙は隔月で発行し、ホームページの情報も適宜更新しています。

計画③ 区社会福祉協議会、行政、関係機関等との連携に努め、関係者間で協力しながら多様な相談に対応出来るような体制づくりをしていきます。

報告③ 関係機関とは常に連携し、地域の繋がりを重視した取り組みを心掛けました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

計画① 両部門の専門性を生かした自主事業を企画・実施する等、協働での取り組みを継続します。

報告① 町内会の食事会などで、地域包括支援センター・地域活動交流部門・生活支援コーディネーターが協働で、介護保険関連の情報提供や介護予防に関する講話などを行いました。また認知症の予防や啓発を目的とした活動に関しても、3部門協働で取り組んでおります。

計画② 毎月両部門で合同会議を行い、計画的に事業や地域への参加ができるように企画・調整をしていきます。

報告② 毎月5職種合同の会議を開催し、地域の各種イベントや事業の情報収集を行い、各職種が偏りなく参加できる様調整しました。

計画③ それぞれの部門で把握している情報や課題等は両部門間で共有をし、協働で課題解決やニーズの把握に向けた取り組みを行います。

報告③ 3部門それぞれが持っている情報等は会議で定期的に摺り合せ、どのように進めていけば効果的に取り組むことが出来るのか検証を行いながら、対応しました。

3 職員体制・育成

計画① ケアプラザ実施要綱に基づき、欠員無く職員配置をします。

報告① 適切な職員配置に努め、欠員無く年度通して従事致しました。

計画② 職員育成の一環として毎月職員会議内で、研修受講をした職員が講師役となり、振り返り研修を行います。

報告② 研修受講をした職員が研修内容をフィードバックし、知識や情報の共有化を図りました。

計画③ 職員の勤続年数や階層別に研修を計画し、新人職員から管理者まで幅広く受講できる様に組み立て、人材の育成に繋げていきます。

報告③ 法人内の階層別研修を活用し、職員のレベルや知識に合わせた育成手法を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

計画① 地域のネットワーク構築のため様々な会議（町内会長会議、地区社会福祉協議会会議、民生児童委員会会議、友愛活動推進員会議、地区別計画企画会議等）に参加し、顔の見える関係作りに努めます。

報告① 地域で開催される会議の中で、ケアプラザの役割や仕組みを説明する機会を頂き、ケアプラザのPRに努めました。28年度は、保健活動推進員や婦人部等の会議にも出席させて頂きました。

計画② 様々な地域課題に対応できるように「むつみ見守りネットワーク連絡会」を開催し、緩やかな地域の見守り活動の展開を目指します。

報告② 「むつみ見守りネットワーク連絡会」をより身近なものとする為の検討会として、「堀睦を明るくする会」という地域住民との意見交換会を28年5月、29年3月に開催しました。そこで出たニーズ等を、次年度の活動に活かしていきます。

計画③ 地域の防災拠点会議や防災訓練に参加し、防災を通じた地域との連携にも努めていきます。

報告③ 防災拠点の避難訓練の他に町内会で開催している防災訓練にも参加し、防災を通じた地域連携に努めました。

計画④ 地域住民が集う為の場所づくりとして、高齢者サロンの創設に向けた準備会や子育てサロンの支援を進めていきます。

報告④ 地区社協開催の子育てサロンに情報提供やチラシの作成、イベント協力等を行い、適宜区役所・区社会福祉協議会と連携しながら進めました。高齢者サロン創設に向けて必要な情報の提供など行い。第3期福祉保健計画に結び付くように支援を行いました。

計画⑤ 地区社会福祉協議会の様々な事業、会議、催し、広報紙発行などの協力を継続し、住みやすい街づくりに向けた活動を共に行っていきます。

報告⑤ 地区社会福祉協議会の会議に参加し、パソコンによるチラシ作り・広報紙作りについて、技術的なアドバイスをを行い支援しました。作成した広報紙はケアプラザにも配架し、地域の方の目に触れるように努めました。

5 区行政との協働

計画① 第3期地域福祉保健計画や南区区政運営方針などに基づき、区及び区社会福祉協議会と地域の実情を踏まえた「街づくり」に向けた連携を行います。

報告① 南区役所、南区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会と協力しながら事業の展開を行いました。ケアプラザは地域福祉の拠点として、関係機関を繋ぐ役割を果たしました。

計画② 自主事業の情報共有、運営にあたっての相談及び内容検討を行います。

報告② ケアプラザの自主事業については、人口移推のデータや地域のアセスメントシートなどを行政と協働で読み取り、地域に合ったものとなるように開催しました。

計画③ 地域包括支援センターで関わる困難ケース等の個別支援は、毎月の区との定例会や支援会議で情報共有や支援の方向性を検討します。

報告③ 毎月1回、定例カンファレンスを開催し、ケースの検討や地域にまつわる情報等の共有を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

計画① ケアプラザの事業や福祉保健活動の内容を掲載した広報紙を隔月発行し、様々な情報を地域の方々に提供します。広報紙・チラシを地域の食事会やその他のイベントに持参したり、ホームページや町内会掲示板の掲載を行います。来館者、貸館利用者、自主事業参加者、スーパー・薬局・エリア内医療機関・障害関連施設などへ配布し、多くの方に見て頂けるように工夫します。

報告① 広報紙を隔月で発行（28年度は12,130枚）しております。内容としてケアプラザ自主事業の告知や地域のイベントの報告などケアプラザと地域の情報を掲載しています。地域包括支援センターからのお知らせも掲載し、生活や介護に役立つ情報も提供しております。地域で開催の食事会やイベント時に持参し配布させて頂いたり、連合町内会会長会にて回覧依頼も行っています。チラシに関しては、期限を定め掲示板の掲載依頼を行っております。近隣の人が集まる薬局・商業施設・福祉施設にも配布依頼を行っております。

計画② 地域のイベント、祭礼、運動会、町内会長会議等に出掛け、地域の課題等の情報提供と情報収集を行っていきます。

報告② 地域で行われるイベント等に参加し、多くの情報が得られるように、こまめにコミュニケーションを図り、必要とされるニーズの聞き取りが行いやすくなるように努めました。

計画③ 町内会館・高齢者マンションなどへ出向き、出前講座を行なうことで、情報提供及び情報収集に役立っています。

報告③ 食事会や高齢者マンションに包括支援センター職員と出向き、ケアプラザの役割について周知活動を行うとともに、身近で発生している犯罪などの一例などを伝えるようにしました。小まめなコミュニケーションを図ることで、地域からの情報収集も行うことが出来ました。

計画④貸し館団体交流会を継続し、各団体の活動紹介などを通して団体間のネットワーク作りと交流の場の提供を行います。

報告④コミュニケーションボードへサークルの紹介が行われるように積極的に誘致しました。自主事業などに来た参加者にサークル活動の紹介なども積極的に行うことで参加人数が増えた団体もありました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

計画①地域のニーズを把握し、必要な自主事業を地域に寄り添い実施していきます。

報告①蒔田地区では障がいについての啓発を地域で行いたいとのことで、11/11に障がいをお持ちの方が講師を行う「やさしい障がい理解講座」を開催しました。
区役所・蒔田地区社協などの協力があり、将来的に蒔田地区で講座を開くための準備に繋がりました。

計画②貸し館状況の空き情報は常に更新し、受付カウンターとホームページに開示していきます。

報告②貸し館状況の空き状況は、ホームページ上で公開することが出来ました。パソコンの苦手な高齢者も見ることが出来るようにカウンター前には、ホームページ更新と同時に紙面で掲載することが出来ました。

計画③多くの方々が快適に施設を利用して頂けるように、施設内外の整備や職員の接遇、育成を行なっています。

報告③毎朝、職員による環境整備と専門業者による定期的な清掃で施設の清潔維持を行っています。接遇に関しては、気付いた時に職員同士で注意しお互い気を付けるように心がけています。

計画④地域の方が貸館利用を行いやすくなるように、定期的に貸館利用の手引きを見直し、団体同士のトラブル等なく運営をしていきます。

報告④マニュアルの一部変更を行いました。28年度は大きなトラブルは無く運営することが出来ました。団体同士のネットワーク作りに関しては、コミュニケーションボードを活用しチラシを掲載してもらい、来館時に興味のある方に対して、紹介をしました。

計画⑤貸館登録団体交流会とボランティア会を開催して、活動紹介や各団体間のネットワーク作りの場を提供していきます。

報告⑤ボランティア会として、各貸し館団体の代表に参加して頂きエコキャップの仕分け会を行っています。団体同士、気軽に話をしながら作業に取り組んでおり、団体間の交流に繋がっています。

3 自主企画事業

計画①地域のサロン・自主活動グループの後方支援を継続していきます。地域のサロンに同調した事業を展開していきます。

報告①地域の子育てサロンが活性化できる様に、ケアプラザの自主事業として行っている子育て広場の中で情報提供を行う等、相互作用が生まれるような支援や取り組みを行いました。

計画②住民が参加しやすく、地域活動の担い手育成となる自主事業の企画を地域のニーズに沿って進めていきます。

報告②地域の方が参加しやすいように地域住民を講師とする「達人の知恵講座」を開催し、ちりめんを使った干支の講座を行いました。異世代交流事業として、「味噌作り体験講座」開催し、親子での参加を中心として募集しました。

計画③自主事業参加者にボランティア活動への参加を促します。

報告③自主事業の参加者の中で、ボランティア募集を広報紙など使い募集し、希望者に対して適していると思われる住民の方へ協力をお願いしています。

計画④地域包括支援センターと協働で地域の会館などに出向き、出前講座を行います。介護者の集い、認知症サポーター養成講座、高齢者支援の講座を協働で行います。

報告④地域の食事会や地域主催のサロンに包括支援センター職員と共に出向き、ケアプラザ事業の案内や取り組みの紹介を行いました。介護予防サポーターには食事前の口腔体操を実演して頂きました。認知症サポーター養成講座では、包括職員と共に計画から行いました。

計画⑤むつみ見守りネットワーク事業の継続を行います。

報告⑤28年度より「むつみ見守りネットワーク」の街歩き活動から変更し地域の課題を直接、地域住民から聞く会として「堀睦を明るくする会」を開催しました。地域訪問だけでは、取りきれない課題やニーズの把握に繋がりました。

計画⑥閉じこもりがちな高齢男性の支援に向けた、自主事業の企画を検討します。

報告⑥高齢者男性でも参加しやすい講座として体操と脳トレを一つにした「いきいきシニア塾」を開催しました。男性の参加者も徐々に増えています。

計画⑦子どもから高齢者まで幅広く参加出来る講座を企画し、異世代交流を行います。

報告⑦異世代交流事業として、子どもから高齢者まで楽しめる「味噌作り体験講座」を行いました。小学生とその保護者、幼稚園児と保護者、高齢者、男性などの参加があり、多世代の交流ができました。

計画⑧近い将来の超高齢化社会に向けて、高齢者の居場所作りに繋がる事業を継続し、地域で開催される高齢者サロンへのアドバイスに繋がります。

報告⑧堀睦地区の高齢者サロン創設、蒔田地区の高齢者サロンの発展を目的に平成27年度より行っている「いきいきシニア塾」のノウハウを使い堀ノ内睦町地区社協で計画されている高齢者サロン開催時のヒントになる準備が出来ました。他の地区で行われている高齢者サロン見学への繋ぎなど、少しずつ進んでいます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

計画①地域で活動しているボランティアの方々に、ケアプラザ自主事業・ケアプラザ祭りなどへの協力を依頼、活動支援、育成を支援していきます。

報告①地域住民の方と貸し館団体からボランティア募集をし、ケアプラザ祭りや自主事業の担い手となって頂きました。自主事業の参加を終えられた方にも声を掛けボランティアとして活動して頂きました。

計画②ボランティア団体・個人ボランティア同士の交流を図り、ネットワーク化を目指していきます。

報告②エコキャップボランティア会を通じて、ボランティア同士での交流が持てるように努め、多くの方に参加していただく事が出来ました。

計画③初めてのボランティア活動に参加するきっかけとして、ケアプラザ祭りやボランティア会に地域の方の協力をお願いしていきます。

報告③ケアプラザ祭りやエコキャップボランティア会に自主事業参加者や貸館団体の参加者に声を掛け、地域活動に参加する為のきっかけとなるように働きかけを行いました。

計画④医療系専門職の実習等を積極的に受け入れ、ボランティア育成を目指します。

報告④平成 28 年 12 月 7 日に看護学校の実習生の受け入れを行いました。ケアプラザの機能や取り組み状況について講義をしました。

計画⑤近隣の事業所と協力しボランティア講座などを企画して、新たなちよこっとボランティア団体の立ち上げに繋げていきます。

報告⑤ボランティアに携わる人材を増やしていけるように企画し広報紙にて募集を行いました。問い合わせはありましたが、活動を行うまでには至りませんでした。

計画⑥地域の要望に応じ、ヨコハマシニアボランティア育成事業の研修を継続します。

報告⑥28 年度は、地域からの要望が無かったため開催には至りませんでした。

計画⑦区社会福祉協議会と連携して、小・中学校での福祉教育の実施を目指します。

報告⑦社会福祉協議会ボランティアセンターからのボランティアの受け入れを積極的に行いました。近隣の中学校にて、認知症についての講座を行いました。

計画⑧近隣の障がい者作業所と連携し、地域の福祉活動拠点における当事者によるボランティア活動を推進し、地域住民と当事者の交流を図ります。

報告⑧蒔田地区の高齢者サロンでは、担い手のメンバーとして活躍しています。担い手に高齢者が多いなか、若い力で補うことが出来ています。当事者には仕事として参加してもらうことで就業意識を高めることが出来ています。堀ノ内睦町地区では、食事サロンにて担い手として活躍しています。サロン自体の運営改善にもなっています。地域住民と障がいのある方が触れ合うことで障がいについての啓発に繋がっています。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- 計画①初回受付時から相談の経過を記録し、部署内で記録の内容を共有します。ミーティングやカンファレンス等では、支援の目的や内容について、3職種の専門的な知識や技能を活かした協議を行い、適切な支援に取り組みます。
- 計画②相談内容を部署内で共有することで、受付者が不在でも他職員が対応し、支援が滞ることのないように努めていきます。
- 報告①②：毎月部署間で行われるミーティングにおいて、相談内容の把握・社会資源・地域の行事や会議・自主事業の情報共有を行い、地域ケアプラザ全体で協力して地域支援に努めました。個別のケースにおいては、相談を受けた職員が不在時も日報に引き継ぎ事項を記入し、対応に不備がないよう努めました。
- 計画③地域ケアプラザ全体で相談・支援に取り組んでいけるように、適宜他部署とのミーティングや記録等で支援内容の共有を行い、部署間の連携に努めていきます。
- 計画④社会資源の情報やマニュアルを整理し、職員間で共有することで、担当者によって対応が変わらぬよう、支援の均一化に努めます。
- 報告③④：介護保険サービスやインフォーマル・自費サービスについて情報を更新し、ミーティングでも情報共有し相談対応に生かすよう努めました。
- 計画⑤相談内容に応じて、区役所や専門機関等の適切な関係機関・制度につなぐ支援を行います。
- 報告⑤関係機関と連携して対応し、毎月の区とのケースカンファレンスで経過報告や支援の検討を行いました。
- 計画⑥民生委員や地域住民、関係機関から受けた相談については、同行での訪問や個別地域ケア会議の議題にする等常に連携を意識して支援に取り組み、地域包括支援ネットワークの構築に努めます。
- 報告⑥民生委員と連携し同行訪問や、地域ケア会議への参加を依頼し、地域の課題を共有することができました。

地域包括支援ネットワークの構築

- 計画①地域包括支援センター職員と地域活動交流職員の4職種が情報を共有して問題解決に対応することで、ネットワークの構築を図っていきます。
- 報告①地域の社会資源の状況把握に努め、4職種で共有しました。
- 計画②地域の保健・医療・福祉など様々な機関・組織・社会資源を活用して地域支援事業をおこなっていきます。
- 報告②食事会や単一の老人会、近隣の福祉施設と連携し、地域包括支援センターの役割や活動の周知を行いました。
- 計画③資源の把握や創設に向けての地域課題の情報共有を行います。(地域に不足しているサロン・ボランティア等)
- 報告③4職種・地域住民と情報収集の機会を設け、地域に不足しているサロンの必要性を共有し、今後の活動の具体化を目指しました。

計画④エリア内の医療機関・薬局・介護サービス事業所・施設・障害関係施設との連携を図り、ネットワークの構築に努めます。

報告④隔月発行の広報紙を配布しながら、徘徊ネットワークの周知を行いました。また介護事業所の運営推進会議や南区在宅療養ネットワークや南区在宅医療相談室の事例検討会に出席し、医療機関や薬剤師会・介護事業所のネットワーク構築に努めました。

実態把握

計画①総合相談の相談経路、相談者、内容などの分析から課題を抽出し、地域の実情を把握していきます。

報告①総合相談実数 291件 延べ件数 1,133件

今年度の特徴として

権利擁護に関する相談が多く、区やケアマネジャーと連携し継続的な支援が必要でした。

消費者被害及び成年後見制度利用に関する相談実件数 17件

虐待（疑いを含む）に関する相談実件数 7件

以上の相談を踏まえて、民生委員児童委員協議会・地域住民向けに権利擁護についての講座を開催しました。

計画②個別地域ケア会議を重ねることによって、地域の課題を把握していきます。独自様式によるアンケート調査を実施します。

報告②独自様式によるアンケート調査（利用満足度調査・自主事業ごと）を行い抽出した要望をもとに H29 年度事業計画を作成しました。

2 権利擁護

権利擁護

計画①成年後見制度・権利擁護について、サービス事業所・ケアマネジャー向けの学習会を行い、制度の普及啓発に取り組みます。

計画②高齢になっても権利に基づく自己決定が行えるように支援していきます。「老後の自分や家族を守る」をテーマに、相続や遺言・高齢者の金銭管理について地域住民向けの講座を継続して開催します。

報告①②：行政書士・司法書士・南区社協あんしんセンターと連携し、成年後見制度、遺言やあんしんセンターについて地域向けの講座と個別相談会を2回実施しました。

計画③消費者被害防止を目的に、国民生活センターや消費者生活総合センター、警察から入手した新しい悪徳商法手口について、地域住民やサービス事業者等に発信していきます。情報ラウンジには見やすいように掲示やファイルをし、来館者に最新の情報を提供します。

報告③情報ラウンジにファイルし、来館者閲覧できるように、情報を更新しました。また老人会や食事会等でも情報提供しました。地域ケア会議の課題にもあがったため、直接消費者生活総合センターに出向き情報を収集しました。

高齢者虐待

計画①高齢者虐待に対し適切な支援ができるよう、区役所と共に勉強会を行います。
報告①高齢者虐待担当として、区役所とともに職員向け、ケアマネジャー向け研修の事例提供、企画運営を行いました。

計画②高齢者虐待の予防、早期発見・対応に取り組めるよう、区役所と協力し、地域住民やサービス事業所に向けた講演会の開催や広報等、普及啓発を目的とした情報の発信に努めます。

報告②民生委員・児童委員協議会において権利擁護について講義し、高齢者虐待の防止、早期発見について啓発を行いました。

計画③高齢者虐待についての相談があった場合は、南区版高齢者虐待相談受付票を利用し、速やかに区役所と情報共有を行い、状態把握およびカンファレンスを開催し対処します。

報告③虐待の事例について相談があった場合は、虐待受付票を使用し速やかに区と情報共有を行い、カンファレンスを開催し支援方針の検討を行いました。地域住民からの相談もあったため、慎重に役割分担を行い支援に努めました。また、虐待予防の観点から「介護者のつどい」を毎月開催しました。毎回職員も参加し、情報提供や会の運営に携わりました。

認知症

計画①認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、認知症の普及啓発のためのボランティア育成や、地域のキャラバンメイトの定例会を開催すると共にサポーター養成講座開催に取り組んでいきます。

報告①月に1回定例会を開催し、サポーター養成講座を地域活動交流・生活支援C.Oと連携し開催しました。(年金事務所2回・福祉施設・中学校で開催)

計画②認知症担当部会へ参加し、区役所や他の地域包括支援センターとの情報共有をして、協力していきます。

報告②認知症担当者部会に参加し、他の包括支援センターと情報共有を行いました。

計画③徘徊認知症高齢者対応（あんしんネットワーク）の普及啓発をし、認知症高齢者が行方不明になった際の早期発見を目指します

報告③地域の会議やケアマネ連絡会の際に周知を行い、普及啓発に努めました。マニュアルの改訂に関する会議にも出席し、区・他の包括支援センターと意見交換を行いました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

計画①要支援者・総合支援事業対象者に対し、具体的な目標指向型のケアマネジメントを行い改善・向上・自立に向け支援していきます。

計画②介護保険の制度改正を受け情報収集に努め所内で情報共有します。

計画③介護保険制度外の社会資源を組み込んだ介護予防支援計画書を作成します。

報告①②③月1回以上包括部署内でミーティングをおこなっており、利用者の情報共有・予防プランのマネジメントについて話し合いを行いました。介護保険

の利用だけではなく、社会資源を取り入れたケアマネジメントの作成に努めました。

計画④委託を行うケアマネジャーとの連携強化のため、ケアマネ連絡会に積極的に参加します。

報告④ケアマネ連絡会に参加するとともに、担当者会議に出席し適切なマネジメントが出来るようアドバイスをしました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

計画①地域の会議や食事会等で介護保険や権利擁護・介護予防についての講座を継続して行い、包括支援センターの役割の周知や連携推進に努めます。

報告①老人会や地域の食事会等で、各職員がミニ講座を行い、地域包括支援センターの役割を周知しました。地域密着型のデイサービスやグループホームの運営推進会議にも出席、南授産所やコミュニティハウスと協力し介護保険についての講座をおこないました。

計画②地域の民生児童委員・保健活動推進員・友愛活動推進員・区役所・医療機関を交えた情報交換会やケアマネジャーとの交流会を行い地域のネットワークの構築に努めます。

報告②民生児童委員・ケアマネジャー・事業所等の交流会の実施に至らず。民生児童委員の改選もあったため、顔合わせの機会を設けたいと思います。

計画③地域の実情や特性、課題を共有し「地域ケア会議」を開催します。

報告③前年に引き続き、認知症・独居高齢者について地域住民を交えて地域ケア会議を開催しました。(個別版2回・エリア版1回)

計画④広報紙に包括支援センターからの情報を掲載していきます。

報告④睦通信に事業の案内や包括支援センターの役割等の情報を掲載しました。

医療・介護の連携推進支援

計画①エリア内の調剤薬局・医療機関を定期的に訪問し、広報紙を設置していただき情報収集を行いケアマネ連絡会等で情報提供します。

報告①広報紙を配布の際、心配な人を案内して頂く等顔の見える関係作りをめざしました。

計画②区内全包括・区・あったかネット南と協働で医療機関との研修を行います。

報告②8包括支援センター・区と協働でケアマネジャー向けの研修を行いました。

計画③プラザ協力医と地域のケアマネジャーとの意見交換会を定期的に開催し、医療との連携を図ります。

報告③プラザ協力医とのカンファレンスを小規模に行いケアマネジャーが相談しやすい場の提供を計12回おこないました。地域住民向け講座を2回開催し、気軽に医療について知る機会をつくりました。

計画④南区在宅療養支援ネットワーク会に参加し医療連携・他職種連携に努めています。

報告④多職種連携会議、事例検討会へ参加し連携強化や体制の構築に取り組みました。

ケアマネジャー支援

計画①経験年数に合わせた新任ケアマネジャーの研修を行い、支援します。
報告①年1回、2名を担当し、新任ケアマネジャーの研修を行いました。

計画②エリア内のケアマネ事業所を定期的に訪問し、困難ケースの相談や情報交換を行います。

報告②虐待ケースについては同行訪問し、区とも連携し事実確認やケアマネジャーとの関係性に注意しながら、家族対応に努めました。

計画③困難ケースは区役所・3職種が連携し、サービス担当者会議に参加、訪問を行いケアマネジャーが一人で抱え込まないように支援します。また必要に応じて「個別地域ケア会議」に繋げ、地域住民と連携を図ります。

報告③継続的に支援が必要なケースについては、担当者会議に同席し、具体的な支援の方法について助言対応にあたりました。今年度は虐待ケース・成年後見の申し立て等もあり、区の担当職員と同行し、対応・情報共有を行いました。

計画④エリア内のケアマネジャーに参加を呼びかけ、ケアマネ連絡会において学習会や事例検討を行います

報告④ケアマネ連絡会は、12回行いお互いにケースの相談や情報交換を行いました。身近に相談できる場の提供として今後も継続していきます。

計画⑤区と南区8包括主任ケアマネジャー分科会共催でケアマネジメントに関する研修を開催します。

報告⑤区、8包括協働でインシデントを用いた事例検討会や講師を招聘し、研修を行いました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

計画①個別ケース地域ケア会議を地域の他職種を交え開催し、地域の課題に合わせた研修を企画するとともに関係職種の連携推進に取り組みます。

報告①個別地域ケア会議を2回実施しました。認知症・独居高齢者の見守りを中心に上げ、共通課題について金銭管理ができなくなることから地域住民向けに成年後見制度の講座を企画・開催しました。

計画②包括レベル地域ケア会議を開催し（堀睦地区・蒔田地区）、必要に応じて社会資源の創設を目指していきます。

報告②包括レベル地域ケア会議（蒔田地区）では話しあいの中で上がった取り組みそうなことを、さらに地域住民、関係機関で話し合いの場を設け、具体的な活動を進めていきます。

5 介護予防事業

介護予防事業

計画①地域のサロン・食事会や高齢者住宅に出向き介護予防についての講座「こんにちはケアプラザ！」事業を実施します。

報告①地域のサロン、食事会、高齢者住宅に出向き介護予防の必要性について伝え、事業等の案内をしました。介護予防サポーターの方と一緒に出向き介護予防に関するミニ講座を共に行いました。

計画②地域の高齢者全般を対象とした「元気づくりステーション」の自主化となったグループの後方支援を行います。

報告②エリア内の元気づくりステーション「水曜歩こう会」「金曜クラブ」の開催時に訪問して様子を聞き取り、必要に応じて支援・見守りをおこないました。

計画③地域住民の健康意識を高めるため栄養改善、口腔ケア、認知症予防教室等を開催します。

計画④既存のウォーキンググループの維持発展のための、講座を開催します。

報告③④ケアプラザまで来ることが難しい方向けに地域の会館で介護予防教室を開催しました。既存の団体の方も参加出来るよう、ケアプラザにて複数回介護予防教室を開催しました。

計画⑤地域での担い手育成のための研修を開催します。

報告⑤生活支援コーディネーターと共に、毎月スリーAのボランティア「スマイルの会」の練習会をおこないました。講師を招き、再度知識の見直しのため講習をおこないました。

6 生活支援体制整備事業

事業実施体制

計画：地域アセスメントに基づいた地域支援目標に向けて、5職種が連携・補完しながら事業実施できる体制を整えます。

報告：高齢化の課題や閉じこもりなどのニーズのある地域へ向けて介護予防、健康作り、認知症の普及啓発を目的とした取り組みを、地域の活動団体と連携し行いました。

認知症への理解と普及啓発を目的とした「認知症サポーター養成講座」に地域包括支援センター、地域交流と共に参加致しました。

地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

計画①：個別ニーズから地域の高齢者の生活課題やニーズを把握します。

報告①：地域の方々からの情報や資料を基に街歩きを行い、生活環境や地理的な特徴についての調査を行いました。

計画②：住民主体の地域活動や生活支援サービスの提供と活動状況の把握の為、地域活動・サービスリストに情報をまとめます。

報告②：地域資源の把握の為地域に出向き、行われている活動や行事へ参加をすることで地域の生の声に触れる様に努めました。

より広域の地域課題の解決に向けた取り組み

計画①：行政、区社協、他の地域ケアプラザ等の関係機関と情報を共有することで、担当圏域の地域課題についての認識を深めると共に、幅広い知識と手法を身に付けるように努めます。

報告①：区域の協議体、障害施設・作業所との連携や働きかけ、ちよこっとボランティアのネットワーク作り等を通して、「地域の誰もが集える場所」をエリアに限定せず、幅広い視点で柔軟に思考できるように努めました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18,285	23,181	151					5,789
	介護保険収入				5,280	22,780	62,700	900	
	その他	0	0	0	0	684	480	0	2
	介護予防ケアマネジメント費								
	事業費収入					684	480		2
	収入合計(A)	18,285	23,181	151	5,280	23,464	63,180	900	5,791
支出	人件費	9,974	18,358		3,300	15,450	46,000		2,724
	事務費	450	480			130	11,935		
	事業費	270	519	129		100	3,440		216
	管理費	2,217	589						
	その他	798	0		0	0	0	0	0
	消費税	798							
	支出合計(B)	13,709	19,946	129	3,300	15,680	61,375	0	2,940
	収支 (A) - (B)	4,576	3,235	22	1,980	7,784	1,805	900	2,851

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エコ・リサイクル推進活動	目的：エコ・リサイクル活動実施・啓発活動 内容：古切手・エコキャップ・プルタブ分別の機会を設け、地域住民のボランティア参加を推進する また、エコ・リサイクルへの意識向上を図る	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レインボーキッズ	目的：知的障害児の余暇支援 内容：ダンスや体操を通じて楽しみながら体力作りと余暇の充実を行なう。保護者同士の交流を図る。	年12回 4/16 5/21 6/18 7/16 8/6 9/17 10/15 11/19 12/17 1/21 2/11 3/18

事業名	目的・内容	実施時期・回数
10周年祭	目的：地域連携・ネットワーク作り 内容：ケアプラザ周年祭が、地域のイベントとなり、地域住民と共に開催できるネットワーク構築を目指す貸館利用者・地域住民が企画段階から参加、ボランティア担い手として、主体的に活動できる様に支援する。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館登録団体説明会	目的：ケアプラザの利用方法の周知・再確認の場 内容：ケアプラザの利用が正しく行われるように利用方法についての説明会と利用方法の再確認を行う。	年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て広場	<p>目的：エリア内に親子の居場所を創生する</p> <p>内容：①0歳～未就園児の親子が、仲間と交流して安心して過ごせる居場所を創る</p> <p>②参加者のニーズに合わせ講座を企画開催する（歯科講座・リトミック等）</p>	毎月第3（月） 午前10時～ 11時30分

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こんにちは！ ケアプラザ	<p>目的：ケアプラザの周知活動・介護予防</p> <p>内容：地域の高齢者食事会・催しに出向き、介護予防講座 制度説明・ミニ相談会を開催する</p>	隔月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防事業	<p>目的：地域住民に分かり易く認知症についての啓蒙をする</p> <p>内容：認知症サポーター養成講座の開催</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
達人の知恵講座	<p>目的：食育・異世代交流</p> <p>内容：ホウ酸団子作り、食育講座の開催、味噌作り 講座（地域住民が講師として開催）</p>	5月 2月

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちよこっとボランティア育成	<p>目的：小修繕を行なうボランティア育成 内容：DIY講座を開催 講座終了後は、ボランティア活動を行なう自主活動団体の立ち上げを目指す</p>	シリーズ開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁クラブ	<p>目的：貸館登録団体 棋楽会のボランティア活動支援 内容：毎月2回 ケアプラザ多目的ホールにて、囲碁ボランティア活動を行なっているメンバーが地域住民と交流する機会を設け、介護予防の支援を心掛ける</p>	第2・4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン支援	<p>目的：サロン活動の継続支援 内容：地域で活動中のサロン（むつみ茶屋等）支援 新規サロンの立ち上げ支援</p>	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育 (認知症サポーター養成講座含む)	<p>目的：小・中学生対象に認知症を伝える 内容：認知症関連の講座の開催</p>	年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エリア内 ケアマネジャー 連絡会	目的：エリア内ケアマネジャーのネットワーク作り 内容：研修実施・事例検討会の開催	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地区社会福祉 協議会への協力	目的：地区社協の活動支援 内容：地区社協事業の開催支援	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア塾	目的：高齢者介護予防・地域高齢サロン支援 内容：前半 体操 後半：脳トレを行う。後半部分には、 要望が有れば講座を盛り込む	毎月第2火曜日 全12回 4/12 5/10 6/14 7/12 8/9 9/13 10/11 11/8 12/13 1/10 2/14 3/14

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がいのある方と 地域の交流事業	目的：エリア内作業所に通う障がい者と地域住民が 顔見知りとなる。地域においての障がいに関 する啓発活動。障がいのある方の社会参加の 場の創設を目的とする。 内容：地域で行われているサロン等でボランティア 活動を通じて地域住民とのコミュニケーション の場を提供する。障がいを持つ方の社会参加を 通じて出来る事の可能性を見つけ出す。	蒔田地区高齢サロ ン：月1回 堀 睦地区サロン： 月1回 蒔田 地区市民活動団体 ：月数回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食育講座	目的：食育を通じて健康増進につなげる。 内容：正しい食生活を伝えることで、健康の啓発を行う。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見講座	地域ケア会議や総合相談で金銭管理に関するトラブルや相談が多く見受けられるため、サービス事業者やケアマネジャー向けに制度の普及啓発を行う。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手作り味噌体験講座	目的：地域の優れた技術を持つ方の生活の知恵の継承 内容：講座を通じて、若年層の地域住民に知識を伝えながら、異世代交流を図りながら地域住民同士が交流出来る場作り。親子中心の募集を行う。	2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
エコ・リサイクル推進活動	①地域住民	251	251	0	0	0	251
	②100人						
	③なし						
レインボーキッズ	①障害児	30,000	18,750	11,250	30,000	0	0
	②72人						
	③250						
10周年祭	①地域住民	57,410	49,910	7,500	0	13,401	44,009
	②300人						
	③なし						
貸館団説明会	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②50人						
	③なし						
子育て広場	①養育者・乳幼児	14,931	14,931	0	6,000	0	8,931
	②180人						
	③なし						
こんにちは！ケアプラザ	①地域住民	0					
	②200人						
	③なし						
認知症サポーター養成講座 (睦オレンジ)	①地域住民	162	162	0	0	0	162
	②100人						
	③なし						
達人の知恵講座	①地域住民	10,320	520	9,800	0	8,160	2,160
	②50人						
	③100円						
ちょこっとボランティア	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②50人						
	③なし						
囲碁クラブ	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②100人						
	③なし						
福祉教育講座	①小・中学生	0	0	0	0	0	0
	②30人						
	③なし						
ケアマネ連絡会	①ケアマネ他	0					
	②100人						
	③なし						
地区社協事業への支援	①地域住民	76,500	76,500	0	0	0	76,500
	②100人						
	③なし						
いきいきシニア塾	①高齢者	60,000	60,000	0	60,000	0	0
	②150人						
	③なし						
障がいのある方と地域の	①障害者作業所						